

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
造形表現Ⅱ Art expression Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修、教職課程必修 (幼稚園教諭二種))	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教職課程科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
吉本義人	本館3階	月曜日12:50~17:40		授業中に指示します
授業の概要				
美術制作とは、自己表現の可能性をいかに見出すことができるかということである。その体験から幼児教育にかかわる指導能力を育成するのが本講義の目的であり、造形表現Ⅰで学習した基礎の上に、より現実的な可能性を探る。例として、共同製作等、個人表現だけでなく集団としての表現を体験する。				
授業の目標				
①幼児がどのような反応をするのかを想像しながら、まず自分の表現を試みることができるようにする。 ②制作の中から、幼児と共に成長する態度を学び、教育現場での実力を付けることができるようにする。 ③共同制作に取り組むことにより、集団の表現を体験することができるようにする。				
授業の方法				
作品制作の実習、発表、コンクール、好評、美術全般の講義。				
学習の成果(学習成果)				
①絵の具、様々な用具、粘土、段ボール等の素材に慣れて使いこなすことができ、その素材を使いこなせる経験が、幼児教育の現場での自信に繋げることができる。 ②造形表現Ⅰで学習した学習した基礎を活かした共同制作をすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	粘土による造形 No. 1 「デッサン」			
第2回目	粘土による造形 No. 2 「心棒をつくる」			
第3回目	粘土による造形 No. 3 「粘土付け」			
第4回目	粘土による造形 No. 4 「粘土付け」			
第5回目	粘土による造形 No. 5 「彩色」			
第6回目	粘土による造形 No. 6 「彩色」			

第7回目	粘土による造形 No. 7 「作品提出・発表・講評」
第8回目	F 50号キャンパスによる共同制作 No. 1 「4～5人の班をつくる」
第9回目	F 50号キャンパスによる共同制作 No. 2 「ミーティング、作品計画」
第10回目	F 50号キャンパスによる共同制作 No. 3 「制作」
第11回目	F 50号キャンパスによる共同制作 No. 4 「制作」
第12回目	F 50号キャンパスによる共同制作 No. 5 「制作」
第13回目	F 50号キャンパスによる共同制作 No. 6 「制作」
第14回目	F 50号キャンパスによる共同制作 No. 7 「制作」 「作品提出」
第15回目	F 50号キャンパスによる共同制作 No. 8 「発表・講評・コンクール投票による採点」

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	意欲を持って臨む。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	80%	提出作品の評価。
その他		

教科書と参考図書

特になし

履修上の留意点・ルール

制作に対応できる服装。
